

## 素晴らしき放浪者 (1932)

BOUDU SAUVE DES EAUX

BOUDU SAVED FROM DROWNING [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 フランス

色彩 B&amp;W

時間 84分

初公開日 1977/03/26

公開情報 フランス映画社

## 【キャッチコピー】

生きるも死ぬも自由自在 セーヌの放浪者ブーデュが まきおこす 大パニック！

## 【解説】

ヌーヴェル・ヴァーグから生まれたどんな映画より自由で伸びやかで、批評する言葉の空しさを痛感させるルノワールの傑作中の傑作。主人公ブデュは気ままな放浪者。けれど、この世はすでに楽しくない。一足飛びにあの世行きを図ってセーヌに身を投げた所、河縁の古本屋の親父に助けられ、英雄とされた彼のその家に居候。持ち前の豪胆さで奥方を寝取るが、旦那の情婦だった女中のアンヌ・マリともネンゴロになり、結婚を決める。が、式の当日、舟で河を往くお披露目の最中、川面に浮かぶ蓮の花に手を伸ばし、舟は転覆。山高帽一つ残し、彼はどこぞへか流れ行き、着いた先の畑の案山子の服を頂戴し、みな心配をよそに、飄々と歩き去って行った。その“水”の官能的な捉え方、怪優シモンのこれまた言語化不能のやさしい獣的な存在感……。言わせて貰えば、50年代後半以降のフランス映画は批評だけ立派で頭でっかち。どうにもこの映画の純粹さに追いつけないように見える。「ビバリーヒルズ・バム」は本作の米版リメイクであった。

## 【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
原作	ルネ・フォーショワ	
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
撮影	マルセル・リュシアン	Marcel Lucien
音楽	ヨハン・シュトラウス	Johann Strauss
出演	ミシェル・シモン	Michel Simon
	シャルル・グランバル	
	マルセル・エイニア	
	セヴェリーヌ・レルシンスカ	
	ジャン・ダステ	Jean Daste
	マックス・ダルバン	Max Dalban